

## 0850 | マルチメディア基礎

3 単位（通信授業 2 単位、面接授業 1 単位）

清水恒平准教授、望月重太郎講師

## 授業の概要と目標

テレビ・PC・スマートフォン・タブレットなど、情報との接触機会は社会生活の多くの場面で非常に多様化してきています。また、YouTube、Facebook、Flickr、Twitter、etc…といった Web サービスや SNS などから、様々なマルチメディアコンテンツ（映像・写真・音・テキスト）に触れる機会が増えてきています。

本科目では、そのようなマルチメディアを取り巻く環境と特性を把握した上で、「マルチメディアなものづくり」の基礎となる映像・写真・音・テキストを使ったデジタル表現の入り口に触れ、主に PC を中心とした触覚・聴覚・視覚に作用する心地よい表現のノウハウと手法の基礎を学びます。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

学習指導書『マルチメディア基礎 平成 29 年度』に提示される 2 つのテーマから、それぞれ 5 つ以上の事例を探してレポートを作成する。

主に PC / スマートフォン向けの様々な Web サイトを閲覧し、マルチメディアの表現手法をテーマに沿って読み解くことを目的とする。

## ○面接授業課題

課題発見ワークショップと、それを元にしたインタラクティブ作品の制作。

3 日間のうち、初日はムービーを使用したレポートの制作・発表を行い（グループワークを想定）、残り 2 日間で Adobe Animate (旧 Adobe Flash) を使用したインタラクティブ作品の制作・発表を行う（個人ワークを想定）。

## ○通信授業課題 2

学習指導書『マルチメディア基礎 平成 29 年度』に提示されるテーマで、シンプルなアニメーション作品を制作。

規定の Web サービス上 (Tumblr) にアカウントを開設し、作品をアップロードする。

## 授業計画

面接授業では、通信授業課題 1 の成果を前提とした学習を行うので、予め提出しておくことが望ましい。

## 成績評価の方法

通信授業・面接授業の課題評価の平均点とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] ・履修年次は問わないが、1～2 年次までに履修するのが望ましい

・Windows または Machintosh で、Web ブラウジング・電子メール送信が可能な環境を有すること

OS: Windows98 以上 Mac OS 10.4 以上

・Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Fireworks、Adobe Flash、iMovie など、画像加工・動画編集が可能なアプリケーションを有すること

スクリーニング時に、受講人数を制限する場合がある。

## 教材等

教科書：清水恒平『マルチメディアを考える』（武蔵野美術大学出版局 2016 年）

学習指導書：『マルチメディア基礎 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）